



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月9日

上場会社名 株式会社オールアバウト 上場取引所 東
 コード番号 2454 URL <https://corp.allabout.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江幡 哲也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 森田 恭弘 TEL 03-6362-1300
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 <https://corp.allabout.co.jp/ir>
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,096	△1.9	35	△89.6	45	△87.2	11	△94.1
2022年3月期第1四半期	4,174	-	345	-	353	-	189	-

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 15百万円 (△92.1%) 2022年3月期第1四半期 193百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	0.83	0.83
2022年3月期第1四半期	14.05	13.93

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期第1四半期連結会計年度の期首から適用しており、2021年3月期第1四半期に係る各数値については遡及適用を行っておりませんので、2022年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	9,770	4,907	46.3	333.44
2022年3月期	7,934	4,987	58.1	339.40

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 4,525百万円 2022年3月期 4,606百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	7.00	7.00
2023年3月期	-	-	-	-	-
2023年3月期(予想)	-	0.00	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	8,580	9.7	0	△100.0	0	△100.0	△20	—	△1.47
	～9,070	～15.9	～100	～△77.5	～100	～△77.9	～40	～△81.9	～2.95
通期	17,800	15.6	360	△45.2	360	△46.2	200	△41.8	14.74
	～19,200	～24.7	～720	～9.5	～720	～7.5	～430	～25.1	～31.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

（注）2023年3月期の業績予想につきましては、レンジ形式により開示しております。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	13,945,500株	2022年3月期	13,945,500株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	373,699株	2022年3月期	373,699株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	13,571,801株	2022年3月期1Q	13,506,291株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び説明動画の入手方法）

2023年3月期第1四半期決算は、当社ウェブサイト（<https://corp.allabout.co.jp/ir/>）において動画を掲載する予定であります。この四半期決算説明動画で使用する資料についても、同日、当社ウェブサイト（<https://corp.allabout.co.jp/ir/>）に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）による厳しい状況が残る中、感染症対策に万全を期し、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気はゆるやかに持ち直していくことが期待されます。一方で、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中、原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による景気の下振れリスクに十分注意する必要があります。また、依然として収束が見えない感染症による影響にも注視する必要があります。

このような経営環境下で当社グループは、メディア&デジタルマーケティング事業とトライアルマーケティング&コマース事業を中心に、「個人を豊かに、社会を元気に。」というミッションのもと、総合情報サイト「All About」における「ガイド」に代表されるような個人のチカラを活かし、ユーザーやクライアントの皆様にとって最適なソリューション及びサービスを提供すべく、グループ経営を推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,096百万円（前年同四半期比1.9%減）、営業利益は35百万円（前年同四半期比89.6%減）、経常利益は45百万円（前年同四半期比87.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11百万円（前年同四半期比94.1%減）となりました。

報告セグメントの状況は以下のとおりであります。

(マーケティングソリューションセグメント)

マーケティングソリューションセグメントにおきましては、当第1四半期連結累計期間において、プログラマティック広告売上の基礎となるメディアセッション数の上昇や、専門家を活用した新たなサービスの開始などの貢献もありましたが、タイアップ広告や他メディア向けコンテンツ販売が苦戦しました。

以上の結果、マーケティングソリューションセグメントの外部顧客に対する売上高は401百万円（前年同四半期比18.4%減）、セグメント損失は76百万円（前年同四半期はセグメント利益18百万円）となりました。

(コンシューマサービスセグメント)

コンシューマサービスセグメントにおきましては、2021年10月から始まったd払いサンプル百貨店の加算や、dショッピング事業の堅調な推移などにより前年同四半期を上回る売上高となりました。一方、ドコモ経済圏向けマーケティング費用の増加や採用強化など、当期に計画している戦略投資を行ったことにより減益となりました。

以上の結果、コンシューマサービスセグメントの外部顧客に対する売上高は3,695百万円（前年同四半期比0.3%増）、セグメント利益は249百万円（前年同四半期比45.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は7,968百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,744百万円増加いたしました。これは主に未収入金が1,863百万円増加した一方、売掛金が213百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は1,802百万円となり、前連結会計年度末に比べ90百万円増加いたしました。これは主にソフトウェア仮勘定が71百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は4,743百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,914百万円増加いたしました。これは主に未払金が1,859百万円増加した一方、未払費用が69百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は119百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が1百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,907百万円となり、前連結会計年度末に比べ79百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を11百万円計上したこと及び95百万円の配当実施により、利益剰余金が83百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月11日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

当社グループは中長期的な成長に向け機動的に戦略投資を行う方針から、戦略投資額に一定の幅があること等を想定し、レンジ形式による開示としております。

なお、感染症の影響による厳しい状況が徐々に緩和され経済活動の持ち直しの動きがみられますが、今後の感染症の状況、ウクライナ情勢の緊迫化と長期化、金融資本市場の変動等、将来予測情報の前提となる経営環境が変動する可能性があるため、当社グループの業績に影響を及ぼす事象が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,698,483	2,696,075
受取手形	16,060	—
売掛金	1,855,917	1,642,888
未収入金	1,177,902	3,041,723
商品及び製品	391,843	448,914
未成制作費	2,392	12,699
前払費用	71,859	81,493
その他	21,173	52,930
貸倒引当金	△12,508	△8,646
流動資産合計	6,223,124	7,968,078
固定資産		
有形固定資産		
建物	261,610	261,610
減価償却累計額	△16,439	△21,648
建物(純額)	245,170	239,962
工具、器具及び備品	76,652	82,385
減価償却累計額	△35,909	△38,864
工具、器具及び備品(純額)	40,743	43,521
有形固定資産合計	285,913	283,483
無形固定資産		
のれん	10,148	9,404
ソフトウェア	667,227	665,653
ソフトウェア仮勘定	78,181	149,653
その他	522	522
無形固定資産合計	756,080	825,234
投資その他の資産		
投資有価証券	206,952	242,452
関係会社株式	63,879	66,024
破産更生債権等	16,058	16,058
差入保証金	303,903	291,535
繰延税金資産	64,677	64,656
その他	30,101	29,081
貸倒引当金	△15,928	△15,928
投資その他の資産合計	669,644	693,881
固定資産合計	1,711,638	1,802,599
資産合計	7,934,763	9,770,678

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,090,411	1,177,482
未払金	1,156,300	3,015,840
未払費用	384,143	314,345
未払法人税等	70,941	41,301
未払消費税等	34,345	30,276
預り金	59,816	111,788
賞与引当金	5,400	6,864
その他	27,726	45,702
流動負債合計	2,829,085	4,743,602
固定負債		
退職給付に係る負債	42,718	44,049
資産除去債務	74,350	74,350
その他	1,084	893
固定負債合計	118,153	119,292
負債合計	2,947,238	4,862,895
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,285,494	1,285,494
資本剰余金	2,229,919	2,229,919
利益剰余金	1,671,108	1,587,361
自己株式	△582,262	△582,262
株主資本合計	4,604,259	4,520,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,945	4,920
その他の包括利益累計額合計	1,945	4,920
新株予約権	6,338	6,338
非支配株主持分	374,979	376,011
純資産合計	4,987,524	4,907,782
負債純資産合計	7,934,763	9,770,678

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	4,174,638	4,096,754
売上原価	1,772,862	1,696,266
売上総利益	2,401,776	2,400,487
販売費及び一般管理費	2,056,198	2,364,525
営業利益	345,578	35,961
営業外収益		
受取利息	777	810
受取配当金	1,800	5,000
助成金収入	—	2,700
投資有価証券評価益	864	—
持分法による投資利益	2,860	2,145
その他	2,275	989
営業外収益合計	8,577	11,645
営業外費用		
支払利息	—	6
投資有価証券評価損	—	970
その他	667	1,354
営業外費用合計	667	2,331
経常利益	353,489	45,274
特別損失		
固定資産除却損	0	—
減損損失	2,182	—
本社移転費用	16,971	—
特別損失合計	19,153	—
税金等調整前四半期純利益	334,335	45,274
法人税、住民税及び事業税	112,016	34,279
法人税等調整額	28,518	△1,291
法人税等合計	140,535	32,987
四半期純利益	193,800	12,287
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,054	1,031
親会社株主に帰属する四半期純利益	189,745	11,255

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	193,800	12,287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	2,974
その他の包括利益合計	△38	2,974
四半期包括利益	193,761	15,261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	189,706	14,229
非支配株主に係る四半期包括利益	4,054	1,031

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	491,500	3,683,138	4,174,638	—	4,174,638
外部顧客への売上高	491,500	3,683,138	4,174,638	—	4,174,638
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,370	382	15,753	△15,753	—
計	506,870	3,683,521	4,190,392	△15,753	4,174,638
セグメント利益	18,354	456,460	474,814	△129,236	345,578

(注) 1. セグメント利益の調整額△129,236千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△129,236千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	401,087	3,695,666	4,096,754	—	4,096,754
外部顧客への売上高	401,087	3,695,666	4,096,754	—	4,096,754
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,306	696	15,002	△15,002	—
計	415,394	3,696,362	4,111,757	△15,002	4,096,754
セグメント利益又は損 失(△)	△76,065	249,445	173,379	△137,418	35,961

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△137,418千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△137,418千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(資本準備金の額の減少)

当社は、2022年5月26日開催の取締役会において、「資本準備金の額の減少の件」を2022年6月28日開催の定時株主総会に付議することを決議し、同定時株主総会において承認可決され、2022年8月1日にその効力が発生しております。

1. 資本準備金の額の減少の目的

今回の資本準備金の額の減少は、今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的としております。

具体的には、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の額を減少し、減少する資本準備金の額の全額をその他資本剰余金に振り替えます。

2. 資本準備金の額の減少の要領

(1) 減少後の資本準備金の額

資本準備金1,528,214,539円のうち、1,200,000,000円を減少し、328,214,539円といたします。

(2) 資本準備金の額の減少方法

減少する資本準備金の額の全額をその他資本剰余金へ振り替えます。

3. 資本準備金の額の減少の日程

①取締役会決議日	2022年5月26日
②定時株主総会決議日	2022年6月28日
③債権者異議申述公示日	2022年6月30日
④債権者異議申述最終日	2022年7月30日
⑤効力発生日	2022年8月1日

4. その他の重要な事項

資本準備金の額の減少は、貸借対照表の純資産の部における勘定科目間の振替処理であり、当社の純資産額に変動はなく、発行済株式総数や1株当たり純資産額及び連結業績に与える影響はありません。